

○ 保 医 保 健 第 号
令 和 7 年 月 日

○○区保健衛生主管部長 殿

東京都保健医療局保健政策部長

○ ○ ○ ○
(公 印 省 略)

令和 6 年度東京都がん検診精度管理評価事業における生活習慣病検診管理指導協議会
がん部会の意見及び評価について（令和 6 年度がん検診の実施状況）

日頃より、東京都の保健衛生行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（健発第 0331058 号平成 20 年 3 月 31 日厚生労働省健康局長通知別添）（以下、「指針」という。）では、都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会のがんに関する部会において、区市町村が行うがん検診の評価、指導等を実施することが求められています。

また、「第 4 期がん対策推進基本計画」（令和 5 年 3 月 28 日閣議決定）及び「東京都がん対策推進計画（第三次改定）」（令和 6 年 3 月）では、科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実を目標としており、それぞれ「指針に基づかないがん検診の中止市町村数」「全ての区市町村で科学的根拠に基づくがん検診の実施」を評価指標として掲げています。

先般、令和 6 年度第 3 回東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会（以下、「がん部会」という。）において「東京都におけるがん検診精度管理評価事業（令和 6 年度実施分）」による調査結果について評価したところ、貴自治体におけるがん検診の実施状況について別紙のとおり意見がありましたので通知します。

指針外検診の見直し・精密検査受診率向上・精度管理の向上に向けた取組に関する意見交換のため、令和 7 年度にいくつかの区市町村を個別訪問する予定です。対象となった区市町村には別途御連絡しますので、御理解御協力の程、よろしくお願いいたします。

【担 当】

東京都保健医療局保健政策部健康推進課
成人保健担当

電 話：

メー ル：

東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会意見

1 科学的根拠に基づくがん検診の実施

がん死亡率減少効果と不利益の対比の観点から、国の指針で推奨されたがん検診手法を東京都でも推奨しています。

東京都においては、都内自治体の皆様の御協力の下、指針外検診が減少傾向にありますが、指針外検診を実施している自治体につきましては、指針に沿ったがん検診の適切な実施をお願いします。

【貴自治体で実施している指針外の検査項目及び対象者】

がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	理由	がん部会からの意見
自治体別に作成 (別紙 2 を差し込み)			

作成元：令和 6 年度実施「東京都におけるがん検診精度管理評価事業」実施状況調査(令和 6 年度検診実施分)

※「指針外の検査項目及び対象者等」には、国の指針で示されている以外の検査項目や対象者等に検診を実施している場合、その内容を記載しています。

※指針外検診の問題点については、参考資料 1 を御覧ください。

○指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容（令和 6 年 2 月一部改正）

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50 歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については 40 歳以上に対し実施可	2 年に 1 回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年 1 回実施可
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40 歳以上 ※喀痰細胞診については原則として 50 歳以上の重喫煙者（喫煙指数 600 以上の者）のみ	年 1 回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40 歳以上	年 1 回
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20 歳代	2 年に 1 回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	30 歳以上	2 年に 1 回
	問診、視診及び HPV 検査単独法 ※実施体制が整った自治体で選択可能		5 年に 1 回 ※罹患リスクが高い者については 1 年後に受診
乳がん検診	質問（問診）及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※単独では視診、触診は推奨しない	40 歳以上	2 年に 1 回

《科学的根拠に基づくがん検診に関する参考資料》

(1) 各がん検診の推奨される方法とその根拠【参考資料1】

- ①:「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン 2014 年度版」「胃がん検診の推奨グレード」
- ②:「有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン」「肺がん検診の推奨レベル」
- ③:「有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドライン 2024 年度版」「大腸がん検診の推奨レベル」
- ④:「有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドライン 更新版」「子宮頸がん検診の推奨グレード」
- ⑤:「有効性評価に基づく乳がん検診ガイドライン 2013 年度版」「乳がん検診【推奨のまとめ】」
- ⑥:「有効性評価に基づく前立腺がん検診ガイドライン」

「有効性評価に基づく前立腺がん検診ガイドライン ERSPC・PLCO に関する更新ステートメント」
「前立腺がん検診の推奨グレード」

(2) 国立がん研究センター社会と健康研究センターホームページ「がん検診の有効性評価」

<http://canscreen.ncc.go.jp/assessment/index.html>

2 その他

(1) 東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会

「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知別添）において、都道府県はがん等の動向を把握し、また市町村、検診実施機関に対し、検診の実施方法や精度管理の在り方等について、専門的な見地から適切な指導を行うために協議会を設置するものとしており、東京都では当該協議会設置の上、がん検診に係る評価を行うためにがん部会を設置しています。

これまでの部会の議事録は下記にて公表しています。

○東京都保健医療局ホームページ「とうきょう健康ステーション」内「受けよう！がん検診」> 東京都の取組について：区市町村・医療機関向け事業>生活習慣病検診管理指導協議会

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/kyougikai/>

(2) 「東京都がん検診精度管理評価事業」について

東京都では、区市町村が行うがん検診における精度管理を充実させるとともに、東京都全体のがん検診事業の評価を行い、もってより精度の高いがん検診の実施に寄与することを目的に、「東京都がん検診精度管理評価事業」を実施しています。

毎年夏から秋にかけてがん検診の実施状況等について調査を行い、がん部会での評価を経て結果をホームページに公表しています。

○東京都保健医療局ホームページ「とうきょう健康ステーション」内「受けよう！がん検診」>がん検診に関する統計や調査について：がん検診の統計データ・調査>統計データ(受診率・検診受診率等)のページで公表しています。

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/toukei/data/>

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目 及び対象者等	理由	がん部会からの意見
千代田区	胃	胃内視鏡(40～49歳、毎年)	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者及び受診間隔の見直しを御検討ください。
中央区	胃	胃部X線(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	乳	マンモグラフィ(36～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
港区	子宮頸	細胞診・HPV検査併用法(30,33,36,39歳)	指針外の方法に該当するため	細胞診・HPV検査併用法の実施には、国内で統一された検診結果毎のアルゴリズムの構築と自治体におけるHPV陽性者に対する長期の追跡調査を含む適切な精度管理を行う体制整備が不可欠です。現段階で国内におけるアルゴリズムが確立されていないため実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
	前立腺がん関連検査	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
	その他	喉頭がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
		口腔がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
新宿区	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
文京区		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
台東区		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
墨田区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(30,35,40,50,60歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
江東区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,45,50,55,60,65,70,74歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
品川区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(50,55,60,65,70,75歳の者で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	胸部CT(低線量) 選択制	指針外の方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	乳	・超音波検査(34,36,38歳) ・超音波検査(40歳以上の偶数年齢のマンモグラフィ受診者に希望により追加)	指針外の方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		喉頭がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
目黒区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,45,50,55,60,65,70,74歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
大田区	胃	ヘリコバクターピロリ抗体検査(20歳)	指針外の方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	指針外の方法に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		喉頭がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目 及び対象者等	理由	がん部会からの意見
世田谷区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,45,50,60,70歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		口腔がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果を示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
渋谷区		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
中野区	胃	胃内視鏡(40歳以上で胃部エックス線検査の実施が困難な方(身体障害者手帳をお持ちの方)及び50～69歳のみ実施)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40歳以上で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	検診実施なし	指針に準拠したがん検診が未実施であるため	指針に準拠したがん検診の実施を御検討ください。
	子宮頸	コルポスコピー検査(細胞診併用)	コルポスコピー検査(医師が必要と認めた場合に実施)が検査機関によって一律に実施されている可能性があるため	コルポスコピー検査は、内視鏡による精密検査に相当する検査であり、本来的にはスクリーニング検査ではありません。実施の見直しを御検討ください。
杉並区		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
豊島区	胃	・ヘリコバクターピロリ抗体検査単独(20歳～39歳のうち過去に受けたことのない者) ・ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,50歳で過去に受けたことのない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	胸部CT(低線量)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診・HPV検査併用法(30,36,40歳)	指針外の検診方法に該当するため	細胞診・HPV検査併用法の実施には、国内で統一された検診結果毎のアルゴリズムの構築と自治体におけるHPV陽性者に対する長期の追跡調査を含む適切な精度管理を行う体制整備が不可欠です。現段階で国内におけるアルゴリズムが確立されていないため実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
北区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(30,40歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
荒川区	胃	胃部X線(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(35,40,45,50,55,60歳で過去に受けたことのない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
板橋区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(35,40歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(37～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		喉頭がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果を示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
練馬区	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
足立区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40歳～74歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
葛飾区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,50,60歳の区特定健診対象者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目 及び対象者等	理由	がん部会からの意見
江戸川区	胃	胃部X線(30～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	乳	超音波検査(30～39歳、毎年、40歳～64歳はマンモグラフィとの選択)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		口腔がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
八王子市	子宮頸	細胞診(毎年)	指針外の実診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
立川市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(50歳～54歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
武蔵野市	胃	胃部X線(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
三鷹市	乳	超音波検査(30～39歳)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
青梅市	胃	胃部X線(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
府中市		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
昭島市	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
調布市	胃	胃部X線(30～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40～49歳で、過去にピロリ菌の除菌を受けたことがある方、過去に同内容の検査を受けたことがある方、医師が受けることが適当でないと判断した方は除く)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	HPV検査自己採取(20、23、24歳)	指針外の検診方法及び対象者への検診に該当するため	HPV検査単独法による検診を実施する場合は、HPV陽性者に対する長期の追跡調査を含む適切な精度管理体制を構築することが必須です。国の指針及び国立がん研究センターのガイドラインでは、20歳代へのHPV検査単独法の実施は推奨されておらず、検体採取は医師採取が原則です。実施の見直しをご検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
町田市	胃	・指針内検診実施なし ・ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(30歳以上で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
小金井市		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
小平市	胃	胃部X線(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	乳	視触診単独(30～39歳、毎年)	指針外の検診方法に該当するため	視触診単独法は、死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。視触診を実施する場合はマンモグラフィと併せて実施してください。検診方法の変更、検診対象者の見直し及び受診間隔の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
日野市		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
東村山市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40～74歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
国分寺市	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	その他	口腔がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
国立市		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目 及び対象者等	理由	がん部会からの意見
福生市	胃	胃部X線(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	肺	胸部X線(35～39歳)、喀痰細胞診(高危険群以外)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		口腔がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
狛江市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,45,50,55,60,65歳)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
東大和市	胃	胃部X線(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40～74歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
清瀬市		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
東久留米市		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
武蔵村山市	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
多摩市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40～49歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
稲城市	肺	・指針内検診実施なし ・胸部CT(低線量)のみ実施(40歳以上)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
羽村市		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
あきる野市	胃	ヘリコバクターピロリ抗体検査のみ(20,25,30,35,39歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		口腔がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
西東京市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40～49歳で過去に当該検査を受診していない者)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		喉頭がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
瑞穂町		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
日の出町	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
檜原村	胃	胃部X線(30～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	肺	胸部X線(30～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
	乳	・超音波検査(20～39歳、毎年 マンモグラフィとの選択制) ・前年度「高濃度乳房」と診断され、超音波検査を希望する者は40歳以上でも受診可能	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
		マンモグラフィ(20～39歳、毎年)	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者及び受診間隔の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
奥多摩町	胃	胃部X線(35～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目 及び対象者等	理由	がん部会からの意見
大島町		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
利島村	胃	胃内視鏡(40～49歳)、毎年	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者及び受診間隔の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(40歳以上、毎年)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
新島村	子宮頸	検診を2年に1回開催	受診機会を限定しているため	前年度受診でできなかった者への受診機会の確保について御検討ください。
	乳	検診を2年に1回開催	受診機会を限定しているため	前年度受診でできなかった者への受診機会の確保について御検討ください。
神津島村	胃	胃内視鏡(20～49歳)、毎年	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者及び受診間隔の見直しを御検討ください。
	肺	胸部X線(20～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(20～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
	乳	マンモグラフィ(20～39歳、毎年)	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者及び受診間隔の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
三宅村		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
御蔵島村	胃	胃内視鏡(35～49歳)、毎年	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者及び受診間隔の見直しを御検討ください。
	肺	胸部X線(30～39歳)、喀痰細胞診(高危険群以外)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	超音波検査(細胞診併用)	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮頸がん以外の疾患を標的として行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(毎年)	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(30歳以上、毎年)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
八丈町		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
青ヶ島村	胃	胃内視鏡(40～49歳)	指針外の対象者に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	超音波検査(細胞診併用)	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮頸がん以外の疾患を標的として行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(毎年)	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(40歳以上、毎年)	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
小笠原村	胃	胃内視鏡(50歳以上(毎年)及び40～49歳で前年度の内視鏡検査で所見ありの者)	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者及び受診間隔の見直しを御検討ください。
	子宮頸	超音波検査(細胞診併用)	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮頸がん以外の疾患を標的として行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(毎年)	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
	乳	視触診及びマンモグラフィ(超音波検査との選択制、30歳以上、毎年)	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者および受診間隔の見直しを御検討ください。また、指針外の検査方法との選択制の場合、指針に基づく検査方法であるマンモグラフィの受診間隔が適切でないものになるおそれがあります。検診方法の見直しを御検討ください。
		・超音波検査(マンモグラフィとの選択制、30歳以上、毎年) ・乳汁細胞診(医師が必要と認める方)	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査および乳汁細胞診は死亡率減少効果を示す証拠が不十分または示されていないため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	C列 分類 (コメント 参照)	理由	がん部会からの意見
千代田区	胃	胃内視鏡(40～49歳、毎年)	0	指針外の対象者及び受診間隔に該当するため	検診対象者及び受診間隔の見直しを御検討ください。
	胃	胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	乳	マンモグラフィ(36～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
中央区	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診・HPV検査併用法(30,33,36,39歳)	1	指針外の検診方法に該当するため	細胞診・HPV検査併用法の実施には、国内で統一された検診結果基のアルゴリズムの構築と自治体におけるHPV陽性者に対する長期的追跡調査を含む適切な施設管理を行う体制整備が不可欠です。現段階で国内におけるアルゴリズムが確立されていないため実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
港区					
	前立腺がん関連検査		2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
	その他	喉頭がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
		口腔がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
新宿区	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
文京区	意見なし		4	引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いします。	
台東区	意見なし		4	引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いします。	
	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(30,35,40,50,60歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
墨田区	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,45,50,55,60,65,70,74歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
江東区	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(50,55,60,65,70,75歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	胸部CT(低線量) 選択制	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
品川区	乳	・超音波検査(34,36,38歳) ・超音波検査(40歳以上の偶数年齢のマンモグラフィ受診者に希望により追加)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
		前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
	その他	喉頭がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
目黒区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,45,50,55,60,65,70,74歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	胃	ヘリコバクターピロリ抗体検査(20歳)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	0	指針外の受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
大田区	前立腺がん関連検査		2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
	その他	喉頭がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	C判分類 (コメント参照)	理由	がん部会からの意見
	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,45,50,60,70歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
世田谷区	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
		口腔がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施について御検討ください。
渋谷区	意見なし		4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
	胃	胃内視鏡(40歳以上で胃部エックス線検査の実施が困難な方(身体障害者手帳をお持ちの方)及び50~69歳のみ実施)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
中野区		ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40歳以上で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	検診実施なし	0	指針に準拠したがん検診が未実施であるため	指針に準拠したがん検診の実施を御検討ください。
	子宮頸	コルポスコピー検査(細胞診併用)	3	コルポスコピー検査(医師が必要と認めた場合に実施)が検査機関によって一律に実施されている可能性があるため	コルポスコピー検査は、内視鏡による精密検査に相当するものではありません。本来にはスクリーニング検査ではありません。実施の見直しを御検討ください。
杉並区	意見なし		4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
	胃	・ヘリコバクターピロリ抗体検査(20~39歳で過去に受けたことのない者) ・ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40~50歳で過去に当該検査を受診していないことのない者)	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	胸部CT(低線量)	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
豊島区	大腸	便潜血二日法(30~39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診・HPV検査併用法(30,36,40歳)	1	指針外の検査方法に該当するため	HPV検査を用いた検診の実施には、国内で統一された検診結果毎のアルゴリズムの構築と自治体におけるHPV陽性者に対する長期的な経過調査を含む適切な精度管理を行う体制整備が不可欠です。現段階で国内におけるアルゴリズムが確立されていないため実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
北区	胃	胃部X線(39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(30,40歳で過去の当該検査を受診していない者)	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	胃	胃部X線(35~39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
荒川区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(35,40,45,50,55,60歳で過去に受けたことのない者)	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,50,60歳、10年に1回) 上記受診者はX線・内視鏡検査対象外	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(36~39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診(20~29歳、毎年)	0	指針外の実受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
板橋区		前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
	その他	喉頭がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施について御検討ください。
練馬区	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
足立区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40~74歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
葛飾区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,50,60歳の区特定検診対象者)	1	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	C列分類 (コメント参照)	理由	がん部会からの意見
	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,45,50,60,70歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
世田谷区	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されていません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		口腔がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
		意見なし	4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
渋谷区		意見なし	4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
中野区	胃	胃内視鏡(40歳以上で胃部エックス線検査の実施が困難な方(身体障害者手帳をお持ちの方)及び50～69歳のみ実施)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40歳以上で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	検査実施なし	0	指針に準拠したがん検診が未実施であるため	指針に準拠したがん検診の実施を御検討ください。
杉並区	子宮頸	コルポスコープ検査(細胞診併用)	3	コルポスコープ検査(医師が必要と認めた場合に実施)が検査機関によって一律に実施されている可能性があるため	コルポスコープ検査は、内視鏡による精密検査に相当する検査であり、本来的にはスクリーニング検査ではありません。実施の見直しを御検討ください。
		意見なし	4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
豊島区	胃	ヘリコバクターピロリ抗体検査(20～39歳で過去に受けたことのない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40～50歳で過去に受けたことのない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	胸部CT(低線量)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
板橋区	子宮頸	細胞診・HPV検査併用法(30,36,40歳)	1	指針外の検診方法に該当するため	細胞診・HPV検査併用法の実施には、国内で統一された検診結果毎のアルゴリズムの構築と自治体におけるHPV陽性者に対する長期的追跡調査を含む適切な健康管理(行)体制整備が不可欠です。現段階で国内におけるアルゴリズムが確立されていないため実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
荒川区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(30,40歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
		胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(35,40,45,50,55,60歳で過去に受けたことのない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
練馬区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(35,40歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
		大腸	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
葛飾区	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		喉頭がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
足立区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40～74歳で過去に当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
葛飾区	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査(40,50,60歳の区特定検診対象者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	C別 分類 (コメント 参照)	理由	がん部会からの意見
江戸川区	胃	胃部X線(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	乳	超音波検査(30～39歳 毎年、40歳～64歳はマンモグラフィとの選択制)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
		口腔がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施について御検討ください。
八王子市	子宮頸	細胞診(毎年)	0	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
立川市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(50～54歳で過去の当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
武蔵野市	胃	胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
三鷹市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(40、45、50、55、60、65、70歳で過去の当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	0	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
	乳	視触診及びマンモグラフィ(30歳以上、超音波検査との選択制)	0	指針外の対象者への検診に該当するため 指針外の検診方法との選択制であるため	検診対象者の見直しを御検討ください。また、指針外の検査方法との選択制の場合、指針に基づく検査方法であるマンモグラフィの受診間隔が適切でないものになるおそれがあります。検診方法の見直しを御検討ください。
		超音波検査(30歳以上、マンモグラフィとの選択制)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
青梅市	胃	胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
府中市	意見なし		4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
昭島市	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
調布市	胃	胃部X線(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(40～49歳で、過去にピロリ菌の除菌を受けたことがある方、過去に同内容の検査を受けたことがある方、医師が受けることが適当でないと判断した方は除く)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	HPV検査自己採取(20、23、24歳)	1	指針外の検診方法に該当するため	HPV検査単独法による検診を実施する場合は、HPV陽性者に対する長期の追跡調査を含む適切な精度管理体制を構築することが必須です。また、国立がん研究センターのガイドラインでは、20歳代へのHPV検査単独法の実施は推奨されておらず、検体採取は医師採取が原則です。令和6年2月14日付けで改正された国の指針を踏まえ、実施の見直しをご検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
町田市	胃	・指針内検診実施なし ・ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(30歳以上で過去の当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
小金井市	意見なし		4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
小平市	胃	胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
日野市	乳	視触診単独(30～39歳、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	視触診単独法は、死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。視触診を実施する場合はマンモグラフィと併せて実施してください。検診方法の変更、検診対象者の見直し及び受診間隔の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
東村山市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(40～74歳以上で過去の当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
国分寺市	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	その他	口腔がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施について御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	C別 分類 (コメント 参照)	理由	がん部会からの意見
江戸川区	胃	胃部X線(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	乳	超音波検査(30～39歳 毎年、40歳～64歳はマンモグラフィとの選択制)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
		口腔がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。
八王子市	子宮頸	細胞診(毎年)	0	指針外を受診間隔に該当するため	受診間隔の見直しを御検討ください。
立川市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(50～54歳で過去の当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
武蔵野市	胃	胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
三鷹市					
	乳	超音波検査(30～39歳)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
	胃	胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	府中市	意見なし	4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
昭島市	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
調布市	胃	胃部X線(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
		ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(40～49歳で、過去にピロリ菌の除菌を受けたことがある方、過去に同内容の検査を受けたことがある方、医師が受けることが適当でないと判断した方は除く)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	HPV検査自己採取(20、23、24歳)	1	指針外の対象者への検診に該当するため	HPV検査単独法による検診を実施する場合は、HPV陽性者に対する長期の追跡調査を含む適切な精度管理体制を構築することが必須です。また、国立がん研究センターのガイドラインでは、20歳代へのHPV検査単独法の実施は推奨されておらず、検体採取は医師採取が原則です。実施の見直しをご検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
町田市	胃	・指針内検診実施なし ・ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(30歳以上で過去の当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
小金井市	意見なし		4		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。
小平市	胃	胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
日野市	乳	視触診単独(30～39歳、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	視触診単独法は、死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。視触診を実施する場合はマンモグラフィと併せて実施してください。検診方法の変更、検診対象者の見直し及び受診間隔の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
東村山市	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクター・ピロリ抗体検査(40～74歳で過去の当該検査を受診していない者)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
国分寺市	肺	喀痰細胞診(高危険群以外)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	その他	口腔がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	国立がん研究センターのがん検診ガイドラインにより検診の利益を示す死亡率減少効果が示されていないため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。今後の実施の見直しを御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	C列分類 (コメント参照)	理由	がん部会からの意見
奥多摩町	胃	胃部X線(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	肺	胸部X線(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されております。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
大島町	意見なし		4	引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。	
利島村	胃	胃内視鏡(40～49歳、毎年)	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	0	指針外の受診期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(40歳以上、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
新島村	子宮頸	検診を2年に1回開催	0	受診機会を限定しているため	前年度受診できなかった者への受診機会の確保について御検討ください。
	乳	検診を2年に1回開催	0	受診機会を限定しているため	前年度受診できなかった者への受診機会の確保について御検討ください。
神津島村	胃	胃内視鏡検査(20～49歳、毎年)	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
		ヘプシノゲン検査及びヘリコバクター・ヒジロ抗体検査(20歳以上、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	肺	胸部X線(20～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(20～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	0	指針外の受診期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	マンモグラフィ(20～39歳、毎年)	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されております。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
	意見なし		4	引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。	
御殿島村	胃	胃内視鏡(35～49歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	肺	胸部X線(30～39歳)、喀痰細胞診(高危険群以外)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	超音波検査(毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮がん以外の疾患を標的にして行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(毎年)	0	指針外の受診期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(30歳以上、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	胃	75歳以上実施無し	0	対象年齢に上限を設定しているため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	胃	胃内視鏡検査(40～49歳、毎年)	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
青ヶ島村	子宮頸	超音波検査(毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮がん以外の疾患を標的にして行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(毎年)	0	指針外の受診期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(40歳以上、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されております。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。
小笠原村	胃	胃内視鏡(50歳以上(毎年)及び40～49歳で前年度の胃内視鏡検査で所見ありの者)	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	子宮頸	・コルポスコピー検査及び超音波検査(20歳、30歳以上、毎年、細胞診併用)	1	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮がん以外の疾患を標的にして行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められません。またコルポスコピー検査は、内視鏡による精密検査に相当する検査であり、本来的にはスクリーニング検査ではありません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(20歳、30歳以上、毎年)	0	対象年齢の一部限定及び指針外の受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	視触診及びマンモグラフィ(超音波検査との選択制、30歳以上、毎年)	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者および受診期間の見直しを御検討ください。また、指針外の検査方法との選択制の場、指針に基づく検査方法であるマンモグラフィの受診期間が適切でないものになおそれがあります。検診方法の見直しを御検討ください。
		・超音波検査(マンモグラフィとの選択制、30歳以上、毎年) ・乳汁細胞診(医師が必要と認める方)	1	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査および乳汁細胞診は死亡率減少効果を示す証拠が不十分または示されていないため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
小笠原村	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されております。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施について御検討ください。

区市町村	がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	C列分類 (コメント 参照)	理由	がん部会からの意見
奥多摩町	胃	胃部X線(35～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
大島町		意見なし	4	引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。	
利島村	胃	胃内視鏡(40～49歳)、毎年	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	0	指針外の対象期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(40歳以上、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡半減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
新島村	子宮頸	検診を2年に1回開催	0	受診機会を限定しているため	前年度受診できなかった者への受診機会の確保について御検討ください。
	乳	検診を2年に1回開催	0	受診機会を限定しているため	前年度受診できなかった者への受診機会の確保について御検討ください。
神津島村	胃	胃内視鏡(20～49歳)、毎年	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	肺	胸部X線(20～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(20～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	細胞診(毎年)	0	指針外の対象期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	マンモグラフィ(20～39歳、毎年)	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡半減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
三宅村		意見なし	4	引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。	
御蔵島村	胃	胃内視鏡(35～49歳)、毎年	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	肺	胸部X線(30～39歳)、喀痰細胞診(高危険群以外)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	大腸	便潜血二日法(30～39歳)	0	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	超音波検査(細胞診併用)	1	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮頸がん以外の疾患を標的として行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(毎年)	0	指針外の対象期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(30歳以上、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡半減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
八丈町		意見なし		引き続き指針に準拠したがん検診の実施をお願いいたします。	
青ヶ島村	胃	胃内視鏡(40～49歳)	0	指針外の対象者に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。
	子宮頸	超音波検査(細胞診併用)	1	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮頸がん以外の疾患を標的として行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められておりません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(毎年)	0	指針外の対象期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
	乳	・指針内検診実施なし ・超音波検査及び視触診(40歳以上、毎年)	1	指針外の検診方法に該当するため	死亡半減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡半減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
小笠原村	胃	胃内視鏡(50歳以上(毎年)及び40～49歳で前年度の内視鏡検査で所見ありの者)	0	指針外の対象者及び受診期間に該当するため	検診対象者及び受診期間の見直しを御検討ください。
	子宮頸	超音波検査(細胞診併用)	1	指針外の検診方法に該当するため	超音波検査は、子宮筋腫など子宮頸がん以外の疾患を標的として行われるものであり、対策型検診として実施することは勧められません。実施の見直しを御検討ください。
		細胞診(毎年)	0	指針外の対象期間に該当するため	受診期間の見直しを御検討ください。
		乳	視触診及びマンモグラフィ(超音波検査との選択制、30歳以上、毎年) ・超音波検査(マンモグラフィとの選択制、30歳以上、毎年) ・乳汁細胞診(医師が必要と認める方)	0 1	指針外の対象者及び受診期間に該当するため 指針外の検診方法に該当するため
	その他	前立腺がん関連検査	2	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡半減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。